

「福岡教育大学との連携による研究プロジェクト」＜特別支援教育＞
 モデル校 自由ヶ丘小学校の実践 (6/3) 配慮を必要とする子どもへの対応方法についての会議
 教職大学院 院生実習 中間報告会

(特別支援教育の目的)学校現場の児童生徒の実態や課題の把握及び最近の傾向分析を基に特別支援教育に関わる研究の在り方、具体的な実践、校内の支援体制作りなど、中長期的な研究プロジェクトとして充実させていく。

共同研究者・参加者
 福岡教育大学 教職大学院 西山教授・高松准教授
 (実習生)三淵院生・江頭院生
 宗像市教育委員会 齊藤主幹指導主事 正路指導主事
 田中教育連携コーディネーター
 自由ヶ丘小学校職員

自由ヶ丘小学校のこれまでの流れ

4月:各学級各学年で「配慮を要する児童」について確認作業・対象児童の決定

5/14:院生の実習開始
 院生による対象児童の観察
 毎週水曜日を実習日として特定の学級につく
 学級担任や学年教師による行動チェック
 (福岡県作成サポートヒントシート活用)

6/3 校内研修・中間報告会
 院生による観察レポートのまとめの提示
 対象児童への配慮・対応法の提案

7/4 校内研修会:院生実習最終報告会
 までの間、学級担任と院生による対象児童
 に対する対応及び対策の支援活動の実施

夏休み以降2・3学期:院生の実習は終了するので
 学校独自で対象児童への支援活動を継続していく。
 プロジェクトのみを継続発展させていく。



○後藤校長先生 始めの挨拶
 特別支援教育は全教師で取り組むことに意義がある。大学から院生さんだけでなく先生方にもお出でいただいているので、専門的なアドバイスを頂きながら学校として児童に適切で有効な支援活動ができるようにしていきたい。



会議次第 司会は外元教頭先生
 1 学校長挨拶
 2 宗像市教育委員会挨拶 (齊藤主幹)
 3 院生による中間報告及び情報交換 (担任及び学年教師からの説明)
 4 大学からの挨拶 (西山教授)
 5 特別支援コーディネーター終わりの挨拶
 ※随所に人材を育成したいという学校長の意図がありました。



○二人の院生さんは小学校の教師です(大刀洗町立太刀洗小学校と那珂川町立片縄小学校 在籍の45歳、33歳の先生方です)。
 対象児童は一つのことを集中して始めると気が済むまでそれを続ける傾向があり教師の声さえも頭に入らなくなります。この状況を乗り越えさせる方法は……等と課題とそれに対する方策の説明がされました。



情報交換

○担任していても気づいていないことがあって驚いた。
 ○院生の方にTTで学級に入っただき対象児童に折に触れ声をかけていただくことで、児童の行動にも変容が見られた。
 ○対象児童への対応の中で、その子だけ許されるというのは他の生徒が納得いかないので困るときがある。
 ○保護者の理解を得るのが難しい場合はどうすればよいのだろうか。



福岡教育大学 西山先生

○自由ヶ丘小学校には、1学期が始まってすぐから院生の実習と共同研究プロジェクトを受けていただき感謝しています。
 ○中間報告会にたくさんの先生方が参加していただいて対象児童の観察結果や課題、課題に対する対応・支援方法を共有できることが何よりです。
 ○あと1ヶ月で院生による支援活動を実施していくので対象児童の変容をたくさんの先生方で見守っていただけると実習が生きたものになります。

特別支援教育部門は今年度からモデル校が設定できました。自由ヶ丘小学校と中央中学校と津屋崎中学校です。教職大学院生の実習が入る自由ヶ丘小学校に先進的に研究をしていただき、その手法を中央中学校と津屋崎中学校に生かしていきます。教職大学院の院生実習が6年目を向かえましたが、今回プロジェクトとリンクすることで更なる発展をめざします。

「福岡教育大学との連携による研究プロジェクト」 6/3
ICT教育部門 玄海中学校区授業交流会におけるICT機器の活用状況

4台の電子黒板がフル稼働です！
手作り教材で挑戦です。

1の1 学級活動(1)
人間関係づくり



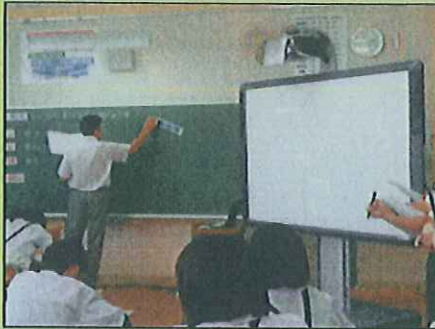
学級担任の藤田先生の授業
電子黒板に学級活動の手順や今やっていることをキーワードで示しています。
先生手作りのパワーポイントを活用

1の2 美術科
鑑賞



学級担任の廣瀬先生の美術の授業
鑑賞の授業を電子黒板と実物投影機を使って分かりやすく楽しく1時間をフルに活用した授業

2の1 学級活動(2)
健康づくり



西村先生の学級活動の授業
タバコ喫煙の害を電子黒板で写しながら説明、授業後半はロールプレイに班で挑戦

3の1 理科
物理エネルギー



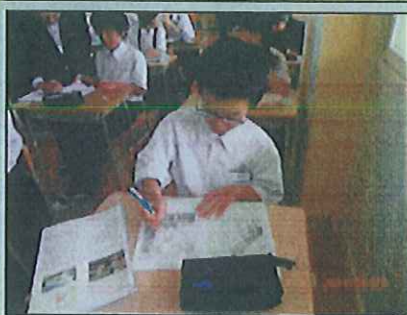
白土先生の理科の授業
手回し発電機の実験をパソコンとプロジェクターを使って分かりやすく提示。3年生が楽しそうに全員授業に参加しています。

3の2 英語科

It is 形容詞for.....to の文



榊原先生の英語の授業
手作りのテキストとパワーポイントを電子黒板に写しながらの授業。3年生が難しい英文を投げ出さずに挑戦

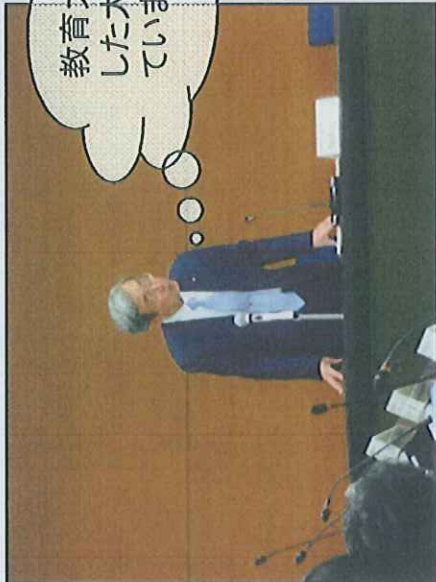


課題に対する自分の考えをまず一人でまとめます。その後班で考えを交流し、一番いい案を発表する。
最後まで集中ししかも笑顔あふれる授業(1年美術)

小学校で鍛えられた学級活動の授業(1年学級活動)
議長・副議長・書記をたてて生徒が最後まで運営しました。
中学校の教師が小学校の先生方に感謝をしていました。
小中一貫の成果ここにあり

連携事業の報告

宗像市教育委員会、福津市教育委員会及び宗像地区小・中学校と福岡教育大学との連携事業第1回連絡協議会(5月23日(金)15:30～) 福岡教育大学にて



教育大学は地域に根ざした大学づくりをめざしています。(檜崎理事)



各関係機関からの参加メンバー

両市教育委員会

宗像市教育委員会
齊藤主幹指導主事
岡田教育政策課長
田中教育連携コーディネーター

福津市教育委員会
溝辺教育総務課長
吉住指導主事

福岡教育大学

福岡教育大学
檜崎理事
伊藤社会連携推進副室長
大竹副理事兼学生・就職支援室副室長
甲斐教育実習運営委員会委員長
高宮教職大学院教授
白井事務局次長・連携推進課長
金子事務局次長・教育支援課長
伊香賀学生支援課長
連携推進課 事務担当 川崎・川副

両市小中学校長会

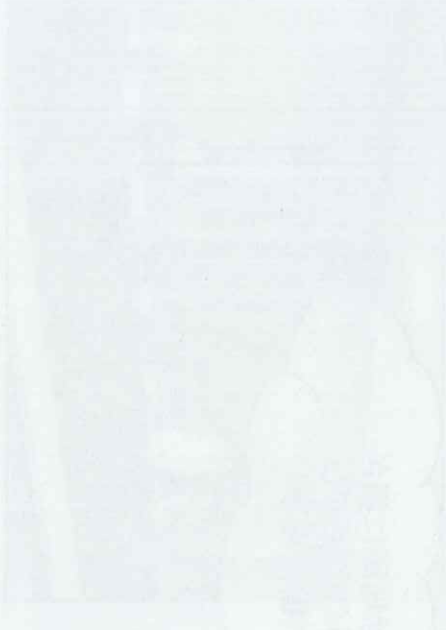
古武東郷小学校長
藤原神興小学校長
岩村自由ヶ丘中学校長
田中福間中学校長

知の拠点事業が採択された場合は現在の共同プロジェクトを更に大きくした事業を展開していくことになります。(伊藤副室長)

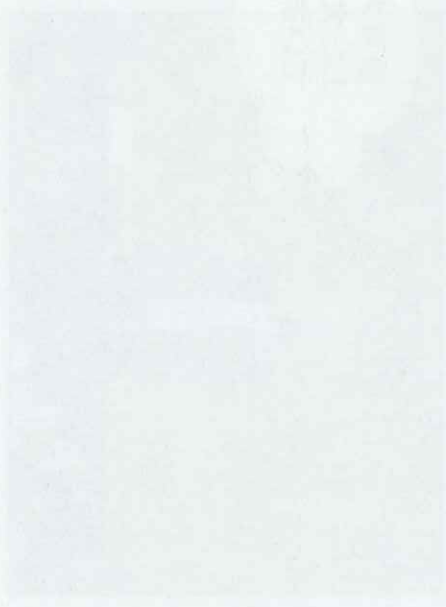
協議事項・報告事項

- 共同研究プロジェクトの進捗状況について
- 第9回宗像地区教育関係者合同研修会について(8/7実施：今年度の内容を実行委員会を立ち上げ検討決定していく。)
- 知の拠点整備事業の概要について.....(昨年に引き続き応募し6月末の採択決定をまっている状況である。)
- 連携総合プランと25年度の連携実績報告書について.....(可能な限りの有効活用を推進したい。)

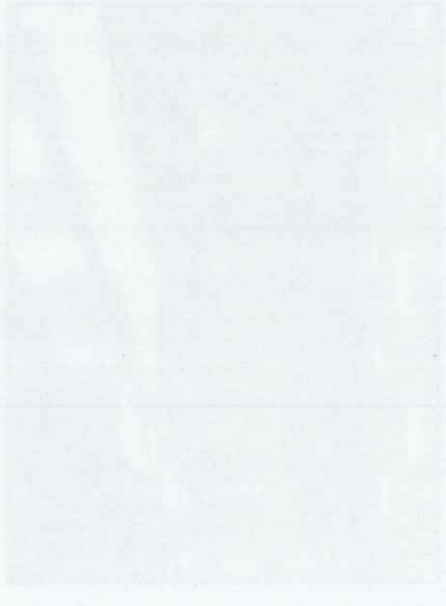
1. 2019年10月1日(星期日)下午2:00-4:00 (地點: 香港中文大學圖書館)
 2. 2019年10月1日(星期日)下午4:00-6:00 (地點: 香港中文大學圖書館)



在討論會中討論



舉行的公開諮詢



在討論會中討論

為加強中小學與家長的溝通，教育局將於今年推出一項由教育局與學校共同舉辦的「家長與學校溝通日」(Parent-Teacher Communication Day)。

這項活動旨在加強家長與學校的溝通，讓家長更了解學校的運作，並與學校合作，共同為學生的學習和發展提供支援。

教育局將與學校合作，共同舉辦「家長與學校溝通日」，讓家長更了解學校的運作，並與學校合作，共同為學生的學習和發展提供支援。

教育局將與學校合作，共同舉辦「家長與學校溝通日」，讓家長更了解學校的運作，並與學校合作，共同為學生的學習和發展提供支援。

教育局將與學校合作，共同舉辦「家長與學校溝通日」，讓家長更了解學校的運作，並與學校合作，共同為學生的學習和發展提供支援。